

和みいなで「小林栄展」開催



小林の功績を知る貴重な資料が展示された



オープニングセレモニーでテープカットする関係者ら

先人の功績や生涯を知る「小林栄展」

野口英世博士の恩師、小林栄の功績を紹介する「小林栄展」は8月17日から27日まで、和みいなで開かれました。17日にはオープニングセレモニーが行われ、主催した小林栄顕彰会の新城猪之吉理事長が「小林先生の意志を受け継ぎ、県内の子どもたちに貢献できるような顕彰活動を行っていききたい」とあいさつ。小林の子孫の大坪佑子さんらがあいさつを述べました。

会場には小林の書「誠実勤勉」や和田三造が描いた小林の肖像やデスマスクなど、貴重な資料49点とパネル26枚が並びました。また、土井晩翠から小林に宛てた手紙や野口英世が小林に出した最後の手紙などが展示されました。会場を訪れた人たちは、顕彰会メンバーの説明を熱心に聞きながら貴重な資料に興味深く見入っていました。

笑顔でこんにちは



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ」

「明るく元気で、周囲から信頼される人に育ってほしい」。光姫ちゃんの名前には、パパとママのそんな思いが込められています。

遠藤 光姫 ちゃん

平成26年9月生まれ
～八千代
大介さん・未来さんご夫妻の長女

人形やぬいぐるみで遊ぶのが大好きな光姫ちゃん。好きな食べ物は何ですかと尋ねると、大きな声で「おにく！」と答えてくれました。

ママの未来さんは「この1年の成長の早さに驚いています。トイレも自分一人で行けるようになりました」と笑顔で話します。

パパとママはそれぞれサービス業に従事しているため、休日が合わないこともしばしば。パパの大介さんは「休みの日には買い物などに家族そろって出かけるのが楽しみなんです。大きくなったらテーマパークや海外旅行にも行きたいですね」と話します。

未来さんは「お外からみんなに愛される人になつてほしいです」と光姫ちゃんを優しく見つめながら話しました。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

ALT紹介



ヴァハラ・ジェシカ・マーガレット先生
Ms.Vahalla Jessica Margaret

猪苗代町の皆さんはじめまして！ヴァハラ・ジェシカ・マーガレットです。アメリカ合衆国サンディエゴ出身の24歳です。日本に来るのは今回が2回目になります。

大学では会計学を専攻し、卒業後はアメリカの会計事務所に勤務していました。以前、留学で日本を訪れた際に日本文化にとても興味を持ちました。さまざまな文化や日本語を勉強したいと思います。

猪苗代町に来て、自然の美しさと町民の皆さんの優しさに感動しています。そして、この町で働くことを大変うれしく思っています。今は新しい生活の始まりに毎日わくわくしています。

趣味は水泳、ヨガ、音楽鑑賞です。まだ日本語を上手に話すことができませんが、早く話せるようになって町民の皆さんと仲良くなりたいと思います。見かけたら気軽に声を掛けてくださいね。

どうぞ、よろしくお願いします。Thank you！

ホットニュース



懐かしい写真などが並ぶ「村の歴史展示会」



記念碑を除幕した地区住民の皆さん

先人をしのび、さらなる発展を祈る
西館開村820年先人感謝祭

西館開村820年先人感謝祭は8月15日、西館区で行われ、住民らが開村820年の節目を祝いました。墓地で先人供養祭を執り行った後、八幡神社境内で記念碑の除幕式が行われました。実行委員長の五十嵐篤区長が「先人への感謝を忘れず、西館区のさらなる発展を祈ります」とあいさつを述べ、記念碑を寄贈した五十嵐孝夫さんに感謝状を手渡しました。

また、同地区の集会所では「村の歴史展示会」が開かれました。住民らが保存していた明治時代の教科書や戦時中の手紙、副実行委員長の鈴木清孝さんが約40年にわたって撮りためた写真などが多数展示されました。鈴木さんは『会津温故拾要抄』によると長尾遠江守赤房が建久8（1197）年に西館を築くと記されていることにちなみました。これらの取り組みが地域の絆づくりのきっかけになれば」と話しました。